

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【公開番号】特開2019-122704(P2019-122704A)

【公開日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-030

【出願番号】特願2018-6899(P2018-6899)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月9日(2021.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行可能であって、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能であるとともに、前記表示手段に所定表示を表示し該所定表示を用いた所定動作を行い該所定表示の表示態様を特定態様とする所定演出を前記示唆演出の実行に対応して実行可能な演出実行手段と、

可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

前記決定手段による決定前に、前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶について前記有利状態に制御されるか否かを判定する判定手段と、

を備え、

前記演出実行手段は、

前記判定手段による判定にもとづいて該判定の対象となった保留記憶による可変表示が実行される前に前記所定表示を表示可能であり

前記所定表示の表示態様が前記特定態様となってから前記示唆演出が実行されるまでの期間が異なるように前記所定演出を実行可能であって、

前記有利状態に制御される割合は、前記期間の長さによって異なり、

前記所定表示として、第1所定表示と、該第1所定表示と異なる第2所定表示とがあり、

前記第1所定表示が表示されたときと、前記第2所定表示が表示されたときとで前記特定態様となってから前記示唆演出が実行されるまでの期間が異なり、

前記有利状態に制御される割合は、前記第1所定表示が表示されたときと、前記第2所定表示が表示されたときとで異なり、

前記所定演出が実行される場合、可変表示が開始されてから前記示唆演出が開始されるまでの期間は、前記第1所定表示が表示されたときと、前記第2所定表示が表示されたときとで同じである、

ことを特徴とする遊技機。

ことを特徴とする遊技機。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の手段Aに記載の遊技機は、

可変表示を実行可能であって、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

表示手段と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出を実行可能であるとともに、前記表示手段に所定表示を表示し該所定表示を用いた所定動作を行い該所定表示の表示態様を特定態様とする所定演出を前記示唆演出の実行に対応して実行可能な演出実行手段と、

可変表示に関する情報を保留記憶として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

前記決定手段による決定前に、前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶について前記有利状態に制御されるか否かを判定する判定手段と、

を備え、

前記演出実行手段は、

前記判定手段による判定にもとづいて該判定の対象となった保留記憶による可変表示が実行される前に前記所定表示を表示可能であり

前記所定表示の表示態様が前記特定態様となってから前記示唆演出が実行されるまでの期間が異なるように前記所定演出を実行可能であって、

前記有利状態に制御される割合は、前記期間の長さによって異なり、

前記所定表示として、第1所定表示と、該第1所定表示と異なる第2所定表示とがあり、

前記第1所定表示が表示されたときと、前記第2所定表示が表示されたときとで前記特定態様となってから前記示唆演出が実行されるまでの期間が異なり、

前記有利状態に制御される割合は、前記第1所定表示が表示されたときと、前記第2所定表示が表示されたときとで異なり、

前記所定演出が実行される場合、可変表示が開始されてから前記示唆演出が開始されるまでの期間は、前記第1所定表示が表示されたときと、前記第2所定表示が表示されたときとで同じである、

ことを特徴とする。

前記課題を解決するために、本発明の手段1に記載の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

表示手段（例えば、画像表示装置5）と、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えば、スーパーリーチのリーチ演出）を実行可能であるとともに、前記表示手段に所定表示（例えば、カウンタの画像138SG005a）を表示し該所定表示を用いた所定動作（例えば、カウントダウン）を行い該所定表示の表示態様を特定態様（例えば、図10-18（B）に示すスーパーリーチの報知態様）とする所定演出（例えば、カウントダウン演出）を前記示唆演出の実行に対応して実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120が図10-10に示す可変表示中演出処理を実行する部分）と、

を備え、

前記演出実行手段は、前記所定表示の表示態様が前記特定態様となってから前記示唆演出が実行されるまでの期間が異なるように前記所定演出を実行可能であって（例えば、変形例139SG-1として図10-17に示すように、）、

前記有利状態に制御される割合は、前記期間の長さによって異なる（例えば、変形例1

39SG-1として図10-17に示すように、カウントダウン終了からリーチまでの待機期間に応じて大当たり期待度が異なる部分)ことを特徴としている。

この特徴によれば、演出の興趣を向上できる。